



News Letter

発行責任者 佐々木吉子（代表理事）

【一般社団法人 日本クリティカルケア看護学会事務所】

〒164-0001 東京都中野区中野2-2-3 (株) へるす出版事業部内

TEL : 03-3384-8062 / FAX : 03-3380-8627

E-mail : jaccn_jimu@herusu-shuppan.co.jp

目次 【新代表理事、学術集会長からの挨拶】

1. 佐々木 新代表理事挨拶
2. 第17回日本クリティカルケア看護学会学術集会を終えて（藤野 集会長）
3. 第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会へ向けて（立野 集会長）

1. 佐々木 新代表理事挨拶



佐々木 吉子氏

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。2021年6月より本会の代表理事を拝命いたしました、佐々木でございます。

長引く新型コロナウイルス感染症のパンデミック下で、多くのクリティカルケア看護に繋がる人々が、困難を経験しながらも挑戦を重ね、新たな看護の形を見出されたことに、心より敬意を表します。私自身は、クリティカルケアの実践の場から離れて久しい状況であります。交流して下さる多くの実践者、管理者、教育研究者の方々から、貴重な知見を共有していただける環境に大変感謝しています。この貴重なネットワークを活かしながら、本学会の発展に寄与してまいりたいと思っております。

2年の任期における私自身の目標としましては、1つは、クリティカルケア看護という概念が、広く一般社会になじむよう尽力することと、また、もう1つはグローバル時代を意識した、持続可能なクリティカルケアの実践について、活発な探究をしていくことです。

コロナ禍で、臨床実践者の方々の懸命な貢献により、重症ケアの重要性は世界的に認知されました。しかし、クリティカルケア看護という言葉は、国内において、「がん看護」や「小児看護」などと比べると、一般市民には認知されていない状況であると感じています。より自然にこの言葉が受け入れられるような活動を推進いたします。

多くの方のご支援をいただきながら、精一杯務めたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

3. 第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会へ向けて

日本クリティカルケア看護学会 第18回学術集会

現地開催【一部オンデマンド配信】

2022. 6/11^{sat}・12^{sun}

北九州国際会議場

【集 会 長】

立野 淳子

小倉記念病院 急性・重症患者看護専門看護師

看護を紡ぎ、次代を拓く。



集会長 立野 淳子氏

(一般財団法人平成紫川会小倉記念病院)

第18回学術集会の集会長を拝命しました立野淳子です。

このたび、会員の皆様および関係各位から多大なるご協力・ご支援を賜り、第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会を、2022年6月11日（土）・12日（日）の日程で開催できますこと、心より感謝申し上げます。本学術集会は、先人たちが大切に紡ぎ続けてこられたクリティカルケア看護をさらに未来に向かって紡ぎながら、次代を拓いていきたいとの思いを込めて、メインテーマを「看護を紡ぎ、次代を拓く」とさせて頂きました。

このメインテーマのもと、本学術集会では、臨床実践家、教育職と様々な場で活躍されている全ての方々にとって、今、未来に求められるクリティカルケア看護を探求し、看護の本質を見つめ直す機会となるような有意義なプログラムを企画しております。すでに学術集会のHPでは、新たに取り入れた企画などの情報も配信しておりますので、是非HPをご覧いただきたく存じます。本学術集会が新たな次代の第一歩を刻む機会となれば幸甚です。

本学会は、北九州での現地開催（一部オンデマンド配信あり）を軸に計画を進めております。久しぶりに仲間たちとの再会を果たし、同じ部署の仲間と現場を離れた場所で、学術的な学びだけでなく、心も癒されるひと時をお過ごしいただけるよう、感染防止に万全の準備をして、スタッフ一同皆様のお越しをお待ち申し上げます。

4. お知らせ

訃報

本会の法人設立に際してご尽力いただき、その後も顧問公認会計士としてご助力いただいた、末吉慎一先生が、2021年12月7日に逝去されました。心より故人のご冥福をお祈りいたします。

日本クリティカルケア看護学会 代表理事 佐々木 吉子